

こいのぼり

『あらう、
こいのぼり
おまちどうさま』

『風がぜんぜん
吹かないから
すこしもうごかないわ』

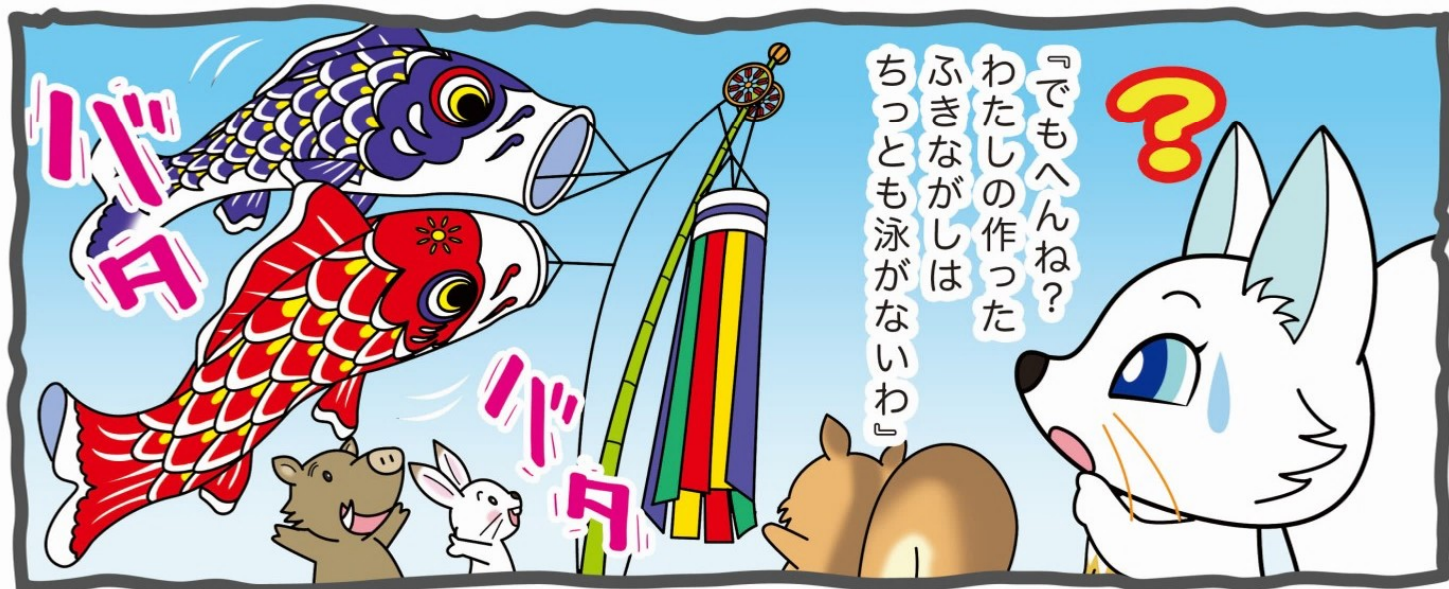
『だいじょうぶ！
この二匹のこいのぼりは
とても元気よくおよぶよ！』

『わたしは
ふきながしを
つくったけど・・・』



『それは
ぼくたちの
作り方が
うまいからだよ』

『わっ！
ほんとうに
泳いだ！
どいどうして？
風もないのに？』



『でもへんね？
わたしの作った
ふきながしは
ちっとも泳がないわ』



『ごいのぼりさん
いっしょに
ごちそう
たべたそうね』

『えっ？
エへへ
気のせいだよ』

『あとでね』



ウツァー！



『あつ
ひもがきれた！』





『あつー！
 ごちそう
 ぜんぶたべちやう！』



『ま、まっごよ
 すんこ
 残してっー！』

ふらふら



「わっ!」
こいのぼりが
こわれた!」

「ちまきや
柏もちが
ふってきた!」

「食べすぎ
ちゃった」

「な〜んだ
ほんものの
鯉さんが
へんしんして
いたんだ!」



「だめじゃないか!
きょう一日
こいのぼりに
なるって
やくそくしたのに!」

「ごめんなさい」

「だって
みんなで
おいしそうに
おかしやごちそう
食べているから
がまんできなくて」

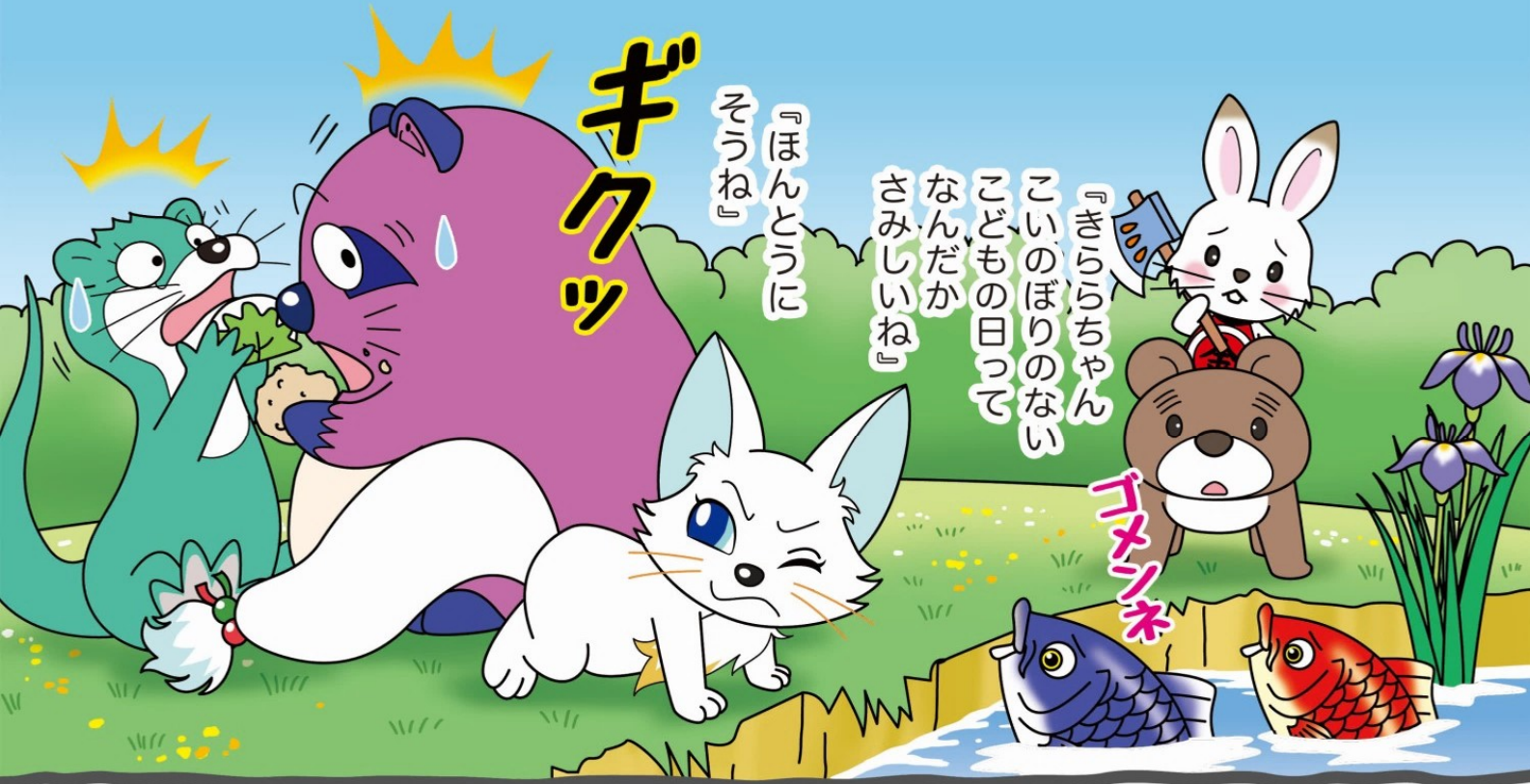
「やっぱり
あなたたちの
しわざね!」

『まあいいわ
きれいな
菖蒲の花もたくさん
さいているから
ここで祝いしましょう』



『来年はほくも
こいのぼりに
してもらおうかな?』

『どろんの森って
とってもすばらしい
ところだったよ』



ギクツ

『ほんとうに
そうね』

『きららちゃん
こいのぼりのない
こどもの日って
なんだか
さみしいね』

ゴメンネ



『じゃあ
こんどはあなたたちが
こいのぼりになってね』

(7)



『そうだけど・・・』

『ポタンたち
この葉っぱで
鯉さんたちを
こいのぼりに
へんしん
させたのよね』

『さあ
みんなをのせて
どろんの森のお空を
ゆうらんひこうしてね!』

